

# えりもしゃくなげ



教育委員会だより 発行者 教育長 川上松美

**保護者・町民の皆さんは運動会や体育大会をどう参観しましたか。学校行事の一つ(体育的行事)で、日々の体育活動の発表の場です。**

○体育的行事を参観するときの視点

運動会、体育大会は教育活動の一環としての学習発表の場です。

○先生方は、全国共通の指導することが記されている「学習指導要領」をもとに、体育的行事のねらいを踏まえて指導しています。その中には、5つのこと「安全、規律、親しむ態度、責任感や連帯感、体力向上」を育てることが求められています。当日は、その成果が発表されていました。

○さて、保護者の皆さんは、自分のお子さんの一生懸命に取り組んでいる姿を見て、家庭に帰ってから、どう伝えているのでしょうか。このことは、大切な子どもへの教育です。

○きっと、「行進のとき立派だったよ。走る時、一生懸命だったね、感動したよ」など、話しているのではないのでしょうか。それが、子どもを育てる第一歩だと思います。学校も家庭もよかったことをほめることは、まさに「育てる」連携と言えます。

## えりも中学校→集団行動・体力向上・学校支援



○5月27日、晴天の中、行われました。写真は、開会式の場面です。一生懸命、宣誓を述べている生徒代表、「その姿は、それを聞いている全校生の態度は、校長先生の挨拶に応える生徒の挨拶は」など、普段の生徒の成長が見られる場面です。学習指導要領では、「規律ある集団行動」、立派な3年生の行進です。



○一生懸命、100メートル走に励む生徒です。えりも中学校では、全校生が体育の時間にタイムを計り、およそ同タイムの生徒を組とし発走していました。目標をもって学習に臨ませる大切な指導の工夫の一つです。その実践をえり中は進めています。



## ○計時係の支援は『学校支援』の一つです。

今、時代の変化の中で、一層、地域との連携が求められています。特に、地域の学校は地域が責任を持って応援していく、いわゆる「地域学校」(コミュニティースクール)の推進です。えりも中学校では、すでに、保護者の方々が体育大会で計時を担当するなど、学校運営への参画が行われています。このよう



に、単に人が足りないから手伝うという考え方から、「学校と一緒に運営していく一員」という意識が大切です。



### 庶野小学校→保小連携・学校支援



○6月6日、2日間延期されましたが、晴天の中で行われました。

○庶野保育所の幼児も3つのプログラムに参加するなど、保小連携の具体例です。上の写真は、伝統の「赤白対抗綱引」です。また、下の写真は、保育所の幼児が60メートルを走ろうとしっかり整列しているところで、指導の跡が見られます。



### 笛舞小学校→集団行動・学校支援・地域参画



○6月10日、地域連携の範となる大運動会が行われました。写真は、地域の人と一緒に「ヨサコイ・ソーラン」の様子です。また、保護者の運営参画も学校支援の例であり、地域が学校を支えています。

### えりも岬小学校→保小連携・地域参画



○6月10日、自治会と連携した「合同大運動会」が行われました。学校競技7種目、自治会競技7種目、その他保育所幼児や地域、PTAと児童競技13種目など計画され、当日は天候の関係で短縮版でにぎやかに行われました。写真は、赤白対抗綱引です。

### えりも小学校→規律・集団行動・学校支援



○6月17日、晴天の中で行われました。

整然とした行進、集合や退場時の機敏な行動など、行事の目的

「規律ある行動、連帯感」の表れで、指導の成果と言えます。大変立派な体育的行事となりました。



### 東洋小学校→規律・体力向上・地域一体



○6月18日、最高の天候で行われました。9人の児童は、開会式での礼、挨拶、力いっぱい  
の単走など、堂々と立派でした。また、極小人数学校での地域はどうあるかを示す地域運動会となりました、特に自治会対抗リレーや餅拾いは素晴らしい企画でした。